

今大会に於きまして国という枠を越えた、とても大きな挑戦をすることが出来ました。セーリングという共通点の元集った世界中の大学生達と過ごした1週間は、かけがえのない時間として生き続けるのだと感じます。4月はじめから約半年間、大会へ向けた様々な準備で多大なるご協力を頂き、それがあってこそはじめて臨むことが叶いました。また現地におきましても、顧問の大木先生やOBの方々に応援に来て頂けて、心が熱くなりました。このような幅の広い活動ができるのはOB、OGの皆様はじめ同じ外洋帆走連盟に所属する他大学やつながりのある一般の方、フランス遠征へ向けた過程の中で至らない点が多く、路頭に迷ったときも導いて頂いた監督、コーチと本当に沢山の方々のご支援、ご協力なくてはできないことであると存じます。厚く感謝の意を申し上げます。

Student Yachting World Cup(SYWoC)はフランスの大学 Ecole Polytechnique が主催する大会であり、学生によって運営されるユニークな大会です。各国から予選と認められた大会（日本ではアニオールズカップ）を勝ち抜いたチームが出場することが出来ます。今年は11カ国12チームが参加し、アジアからは日本のみ、残りはヨーロッパ勢での大会となりました。全16レース行われ、ブイ回りの上下コースから最長20mileのコースタルコースまで、1日2~4レースと外洋を舞台にしているだけあって幅広いコース設定でした。日本の順位は12位と海外に圧倒される結果となりましたが、今大会を通じて学んだこと経験したことを還元し、それを糧に次へとつなげていきます。

世界大会に出場するチャンスがある。と、大学一年生、入学してでこれからどんなことを挑戦していこうかと考えていた所、このヨット部との出会いがありました。先輩方もアニオールズカップ優勝、またSYWoC出場を目指し取り組む熱き想いを感じながらも、悔しさを噛み締め、涙を流してきました。最上級生となり、部活の運営等中心となる中で、やはり目標はそこにありました。受け継いできた想いを果たしたいと臨みました。その結果国内大会を勝つことができ、今回フランスへの遠征も実現することができました。遠征への切符を手にした時点で自分達の目標は達成したのかと、自問自答し続けました。考えれば考える程に、また更なる挑戦をしていきたいという想いが溢れて来ました。またヨットに魅せられた人間の一人として楽しみたい。どのようなテーマを持って、今大会へ挑もうかと。そこからはまた新たなスタート地点へ立ち、取り組むことが出来ました。道中沢山の様々なことがありましたが、それと同じ程に4月には新入生が入部し多くの仲間に恵まれ、乗り越えることが出来たのだと思います。

本当に多くの支えがあり、今回の活動を実現することが出来ました。私自身主将、スキッパーという立場をやらせて頂いたにも関わらず、問題ばかりおこして至らない面ばかりで申し訳なかったです。それでも、ご協力くださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。4年生は引退という一つの区切りを迎えることになってしまいますが、想いはまた新たな想いを生み、つながり、響きあい、廻っていくのだと思います。